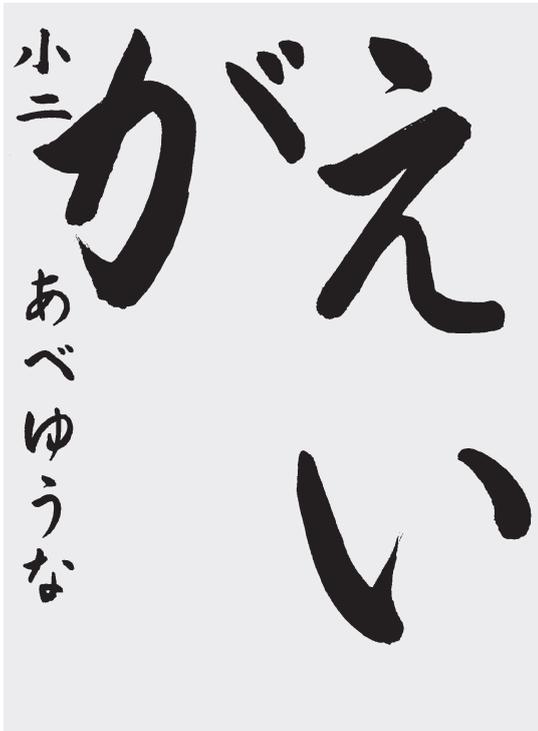


〔5月7日締切課題〕 作品に「学年」と自分の「氏名」を本人が書く。
(幼・小1の方は、学年を書かなくてもよい。)

小学2年参考手本

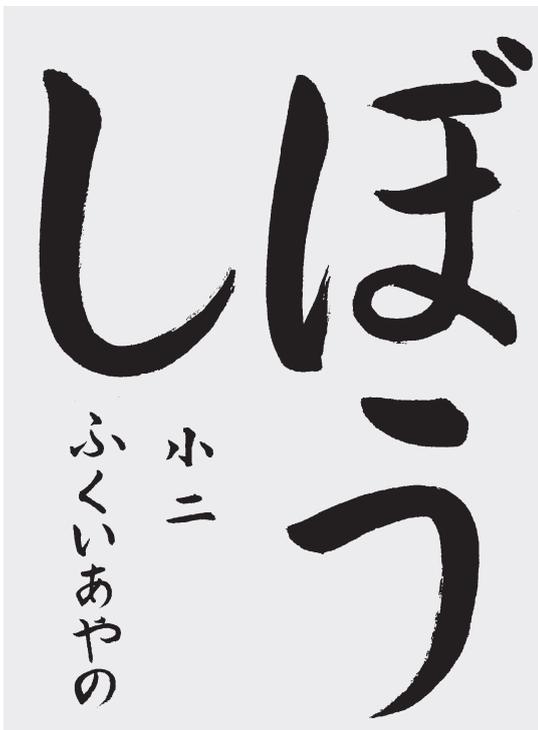


島田白露先生

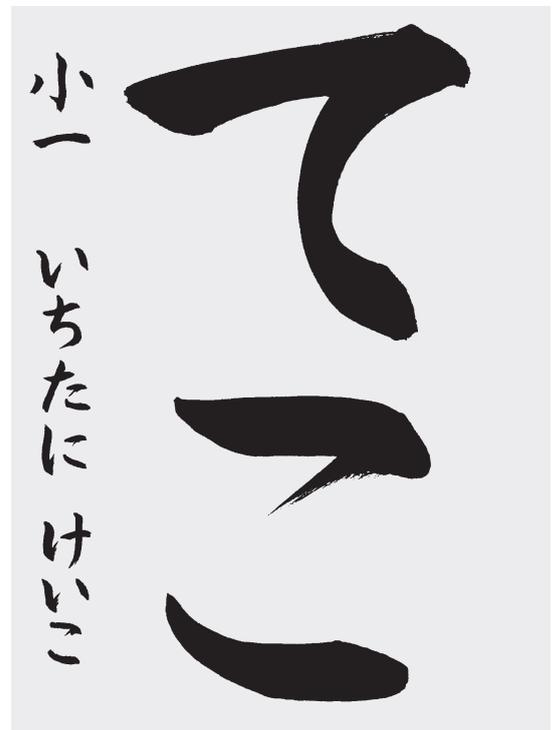
幼・小学1年参考手本



山口仙草先生



稲垣小燕先生



一谷春窓先生

〔5月7日締切課題〕 作品に「学年」と自分の「氏名」を本人が書く。

小学4年参考手本



板垣洞仙先生

小学3年参考手本



片岡豪峰先生



白石和楓先生



最首翠風先生

〔5月7日締切課題〕 作品に「学年」と自分の「氏名」を本人が書く。

小学6年参考手本

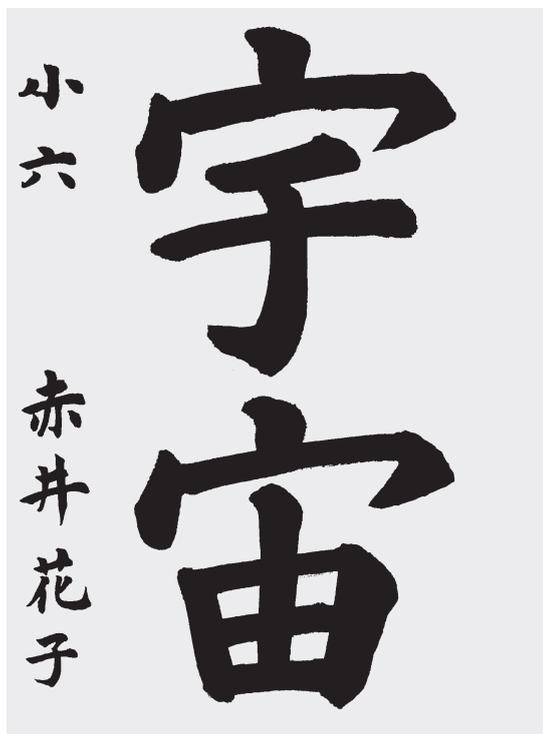


広瀬舟雲先生

小学5年参考手本



名越蒼竹先生



辻元大雲先生



尾形澄神先生

〔5月7日締切課題〕 作品に「学年」と自分の「氏名」を本人が書く。

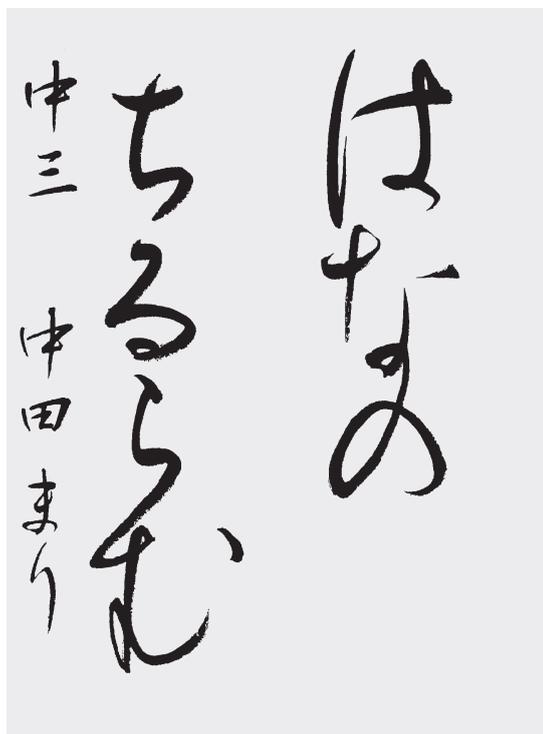
中学全学年参考手本（中学生は、どの課題を書いてもかまいません。）



種谷萬城先生



半田藤扇先生



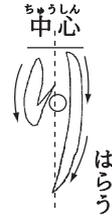
下谷洋子先生



小竹石雲先生

毛筆参考手本解説(1)

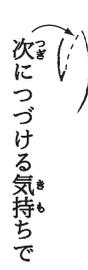
1年



〈じげん〉

利 利

〈ひつじゅん〉



とめる



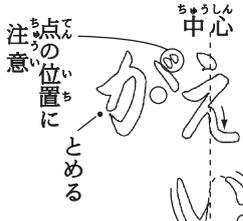
つぎにつづける
気持ちで

〈じげん〉

天 天

己 己

2年



とめる

〈じげん〉

衣 衣

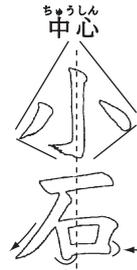
以 以

加 加

ひつじゅん

つ力 力

3年

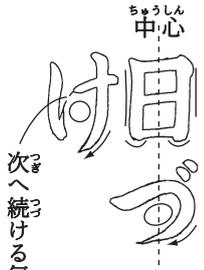


よこが出る

〈ひつじゅん〉

一ノ小 小

一ノ石 石



つぎにつづける
気持ちで

〈ひつじゅん〉

一十才 木

〈じげん〉

川 川

計 計



とめる

つぎにつづける
気持ちで

すい直に

等間隔

出

〈筆順〉

一ノ十中 出 出



たて画を
少し出す

〈筆順〉

一ノ十中 出 出



接し方
浅く

〈筆順〉

十ノ土 十 走 走

4年



人の中に横画を
いれる

〈筆順〉

ノノ八八△△会 会



〈字形〉



そろえる

〈字形〉

〈筆順〉

一ノ丁 十 玉 玊 玊 球 球



浅く接する



はらう

〈筆順〉

一ノ十 十 地 地

〈字形〉

5年



上にそらす

三等分

〈筆順〉

十 十 芽 芽

毛筆参考手本解説(2)

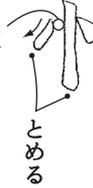
6年

りっしんペン

中学

中心
情

長く
とめる
あける
とめる



ハ
ハ
ハ
情情情

中心
宇

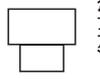
はらう
うかんむり
とめる



ハ
ハ
ハ
宇宇宇

中心
宙

由の画間は等しく
宙



ハ
ハ
ハ
宙宙宙

起

はらう
そりは右に
ふくらませてはねる
了手序承

中心
承

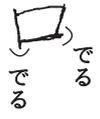
そりは右に
ふくらませてはねる
了手序承

中心
転

云はすこし小さくして
上下をあける
巨車車転転

中心
結

上を長く
系系系結結



許容
はね
とめ
方向・筆順

やさしい行書

お祝い
の歌

漢字よりひらがなをすこし
小さく書く。
ひらがなも行書にあわせる。

次へつながる気持ちで

お

・ネ(しめすへん)の行書

了

はなの
ちるらむ

はなの
ちるらむ

文字から文字へ
線でつながる
(連続)

ひらがなの字源 (319)

む	ら	る	ち	の	な	は	源字	字形
武	良	留	知	乃	奈	波		
む	ら	る	ち	の	な	は		

※源字については、異字体から変遷したものに*印を付して()にその字体を記した。
※字形は古筆から抽出した。上段には源字に近い草仮名を配し、中・下段にはその変遷過程等を配した。

書写教育
全国大学書写書道教育学会編より転載

〔5月7日締切課題〕 作品に「学年」と自分の「氏名」を本人が書く。

小学2年

幼・小学1年

硬筆参考手本

解説 辻元大雲先生

支 部 名				
		メ		
		モ	作	
段・級		に	文	
		と	に	
学 年		り	書	
	ニ	ま	く	
名 前		し	こ	
	水	た	と	
	上	。	を	
	う			
	ら			
	ら			

支 部 名				
		を		
		う	み	
だん・きゅう		た	ん	
		い	な	
がくねん		ま	で	
	一	す	う	
		。	た	
なまえ				
	サ			
	コ			
	ウ			
	ヒ			
	ロ			
	ト			



よこ線の間は、同じに書きましょう。
へつじゅん



中心
右はらい
左はらい



とめる

「メモ」
「書」を正しくととのえて書きましょう。



むすびを大きく
みじかくはらう



上へつづけるきもちでちいさくはねる
とめ



おれ
とめ
まげすぎない
むすび

「うた」
み・な・ま・すのむすびをただしくかきま
しょう。

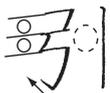
〔5月7日締切課題〕 作品に「学年」と自分の「氏名」を本人が書く。

小学 4 年

支 部 名			
段・級			
学 年	四		
名 前	家本美空		
	て	か	グ
	き	ら	レ
	ま	か	ー
	し	ぶ	テ
	た	を	ル
	。	引	は
		き	、
		ぬ	菜
		い	園

小学 3 年

支 部 名			
段・級			
学 年	三		
名 前	大池和斗		
	大	池	
	き	の	
	く	す	
	息	い	
	を	れ	
	す	ん	
	っ	は	
	た	、	
	。		



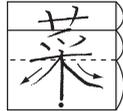
はねる方向に注意



はらう



まじわりに注意



文字の組み立てに気をつけて書きましょう。

「赤かぶ」
特に「菜園」を正しく整えて書きましょう。



よこ線の間かくにちゅうい
心の「点」のいちに気をつけま
しょう。



「シ」さんずいのかたち
へびじもんく
、シシシ池



おれてはねる

「すいれん」
「池」「息」の組み立てに気をつけて正しく
書きましょう。

〔5月7日締切課題〕 作品に「学年」と自分の「氏名」を本人が書く。

小学6年

支部名			
段・級			
学年	六		
名前	山根貴之		
	番組	り	身
	を	上	近
	作	げ	な
	ろ	て	こ
	う	、	と
	。	学	が
		校	ら
		放	を
		送	取
		の	

小学5年

支部名			
段・級			
学年	五		
名前	村田知子		
	に	会	父
	あ	っ	さ
	る	た	ん
	公	の	が
	園	は	友
	で	、	だ
	し	団	ち
	た	地	と
	。	の	出
		中	



中心

文字の中心に注意して
バランスよく書きましょう。



一度止めて右へはらう



「方」の筆順に注意

〈筆順〉
フナフガガ放

「学校放送」
漢字とひらがなをつりあいよく書きましょう。



「へん」と「つくり」の
組み立てに注意。



線の方向に気をつけて

たて画長く出る

「父の友だち」
漢字はひらがなより少し大き目に書きましょう。

書写を知り 学び楽しむ



広瀬舟雲先生

講師の広瀬舟雲先生は、武蔵野大学教育学部児童教育学科教授、全国大学書写書道教育学会副理事長、書道芸術院展常任総務です。著書に「刻された書と石の記憶」、共著に「明解・書写教育」などがあります。

第14回 小学校で学習する漢字について

小学校で学習する全部の漢字を学年別に一覧表にしたものを「学年別漢字配当表」といいます。この配当表は『小学校学習指導要領』第二章第一節国語の最終ページに掲載されています。

この配当表に記された漢字の「読み」については、配当された学年において音読みや訓読みができるようにすることとなっています。しかし、「書き」の指導は二学年間という時間をかけて確実に書き、使えるようにすることとしています。「書き」の方が習得に時間がかかるということからです。

今回の学習指導要領改訂において、書写の学習にも重要な位置を占めるこの配当表も久々に変更がありました。最初、全面的に見直しをするという噂があり、どのように変わるのか興味津々でした。しかし、最終的に社会科で日本の地理を学習する際に都道府県名を示す漢字が一部ないのはいかかなものかということで、学年別漢字配当表の第4学年に、都道府県名に用いるのに不足している漢字25字を配当することのみに留まったそうです。その内訳は、

● 学年別漢字配当表に新たに加えられた漢字20字
(茨、媛、岡、潟、岐、熊、香、

佐、埼、崎、滋、鹿、縄、井、
沖、栃、奈、梨、阪、阜)

● これまで第5学年に配当されていた漢字4字
(賀、群、徳、富)

● これまで第6学年に配当されていた漢字1字
(城)

表に加えられた漢字を改めて眺めると、氏名などでもよく見かける井・岡・奈などが無かったことに気づきます。

また、これだけでは、4年生の配当漢字のみが増えすぎるので、これに伴って32字の配当学年が別の学年に移されました。

○ これまで第4学年に配当されていた漢字のうち21字(囲、紀、喜、救、型、航、告、殺、士、史、象、賞、貯、停、堂、得、毒、費、粉、脈、歴)を第5学年に移す。

○ これまで第5学年に配当されていた漢字のうち9字(恩、券、承、舌、銭、退、敵、俵、預)を第6学年に移しました。

それでは、移された漢字についても「なぜか？」を考えてみてください。

(つづく)

今 月 の ホ ー プ



小六 渡辺 優 (正華書)

紙面いっぱいに元気よく書いています。点画がしっかりと力強く立派で、はね、はらいも丁寧です。



小三 養毛晴貴 (翠支部)

紙面のバランスが良く、落ち着いた中にのびやかさがあり、筆使いの見事な素晴らしい作品です。

支部名	福山
段・級	特待生
学 年	中三
氏 名	岡 悠花

三月を弥生という。「弥」はますます、「生」は生える、つまり草木がだんだん芽吹く月の意である。

中三 岡 悠花 (福山塾)

無理のない書きぶりの行書で、全体的に穏やかな印象を与えています。紙面を上手に使い気配りの行き届いた作です。

支部名	竹の子
段・級	
学 年	五
氏 名	中野あめり

今日の午後、国会議事堂で、文部科学大臣か答弁した。

小五 中野 あめり (竹の子支部)

一番元気のある作品でした。しかも細部まで心を込めて丁寧に書いています。その集中力が素晴らしい。

書道芸術学生版 春季昇級試験規定

・毛筆
・硬筆

一、しめきり日 5月7日(月)

二、発表 表 5月下旬

毛筆の部

一、課題

○試験は次の課題文字による。

- 幼・小学校一年生 とり(かいしよ)
 “ 二年生 えび(かいしよ)
 “ 三年生 山里(かいしよ)
 “ 四年生 決定(かいしよ)
 “ 五年生 花粉(かいしよ)
 “ 六年生 太陽(かいしよ)
 中学校一年生 熱意(楷書か行書)
 “ 二年生 菜園(楷書か行書)
 “ 三年生 海峡(楷書か行書)
- 一、受験料 各部一点 五〇〇円

毛筆
硬筆 } 共 一人一点

○受験料は、指定の振替用紙で締切日までに送金のこと。

一、書 体

○小学生は楷書(かいしよ)

○中学生は楷書または行書

一、清書には、「学年」「氏名」を受験生本人が毛筆で書く。(幼・小一の方は、学年を書かなくてもよい)

一、受験票

応募書類と同送される段級が印字された「昇級試験用」バーコード出品券を清書の右下にしっかりと貼付する。

(毛筆・硬筆共)

のりしろ	
神田 書道 太郎	
① 1013021200013	五段
昇試 (5月7日締切)	
① 毛筆	
神田 中3	
書道 太郎	
五段	
1013021200013	

○応募書類は4月下旬に6月号といっ

しよに、受験番号を記入した応募書類と「昇級試験用」バーコード出品券を送付します。

○左図のように記入して出品する。
 作品中央下に赤字で団体番号を記入する。

と	り	〇〇〇〇
一年	しよどう	たろう
↑		
例	1001	団体番号



※5月号の購読部数を越える受験はできません。

小学 3 年



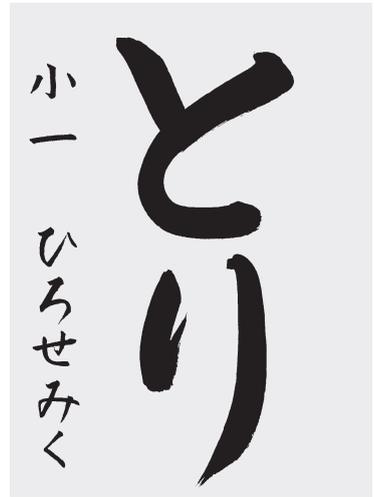
川島舟錦先生

小学 2 年



名越蒼竹先生

小学 1 年



広瀬舟雲先生

小学 6 年



広瀬舟雲先生

小学 5 年



川島舟錦先生

小学 4 年



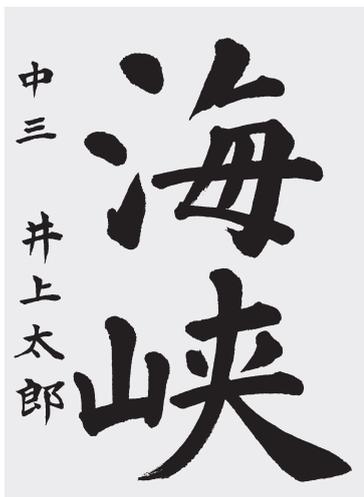
名越蒼竹先生

中学 3 年

中学 2 年

中学 1 年

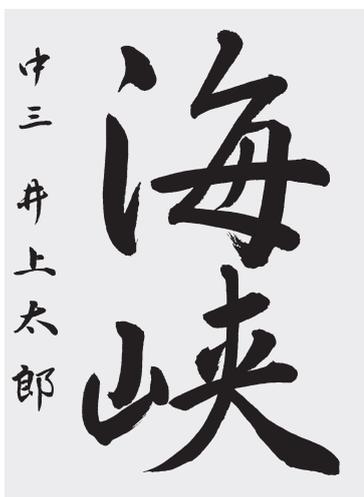
楷
書



辻元大雲先生

小竹石雲先生

種谷萬城先生



行
書

辻元大雲先生

小竹石雲先生

種谷萬城先生

支部名	
段・級	
学 年	中二
名 前	深山 秀幸
で青森県が北限となっています。	
物ですが、暖かい海流のおかげ	
ツバキはもともと南方系の植	

支部名	
段・級	
学 年	六
名 前	尾崎 光
どちらにも使えます。	
は、日本語の姉・妹の	
シスターという英語	

支部名	
段・級	
学 年	五
名 前	小林 一花
ただ経験した事実だ	
けを書くのではなく、	
自分の考えも加えよう。	

春季昇級試験で硬筆の部を受験される方は、本院指定の用紙（月例と同じ用紙）を使用するか、もしくは指定の用紙をコピーして、原紙の大きさにあわせて切って出品してください。

用紙は、一冊30枚つづり。送料を含んだ金額は下記の通りです。

支部名	
段・級	
学 年	中二
名 前	深山 秀幸
で青森県が北限となっています。	
物ですが、暖かい海流のおかげ	
ツバキはもともと南方系の植	

春季昇級試験

硬筆の部

を受験される方へ

◎硬筆用紙は、学年別に4種類あります。

- ① 幼・1年生用 ② 4・5・6年生用
- ③ 2・3年生用 ④ 中学生用

料 金 表 (送料含む)

硬筆用紙9冊以下 (1冊100円+送料)					
冊数	金額	冊数	金額	冊数	金額
1	245 円	4	615 円	7	1,000 円
2	405	5	800	8	1,100
3	515	6	900	9	1,250

10冊以上のご注文は、送料無料。

平成
年 月 日

◇ 登録用紙 ◇

団体番号		支部名		先生名	
------	--	-----	--	-----	--

※氏名を楷書で記入してください。

※毎月 **20** 日までに登録された方は次月から出品可能です。 ※現在の学年を明記してください。

※退会の処理は年2回の昇級試験時に手続きお願いいたします。 ↓

氏 名	ふりがな	学 年			備 考
		幼	小	中	

◇ 部数変更届 ◇

現 在		増 減	合 計
冊	月号から		冊
事務局使用欄			

H30.2.10(土) 第69回全国学生書道展表彰式 (於帝国ホテル 富士の間)



第53回 高野山競書大会案内

併催／日中青少年友好交流競書大会

高野山競書大会に出品の協力を

高野山競書大会は本年53回を迎えます。皆さまご存知の通り、高野山書道協会は日本の全書壇を網羅し、弘法大師空海の遺徳を偲び、書道文化の育成奨励を目的として組織されました。本院としましてもこの趣旨に賛同し、例年多くの会員諸氏のご協力を頂いております。本年も多数のご参加を心よりお待ちしております。新しく出品希望の方は、高野山競書大会総本部までお問い合わせください。

○ 優秀作品展示

八月一日(水)～八月十五日(水)

会場 高野山 総本山金剛峯寺

○ 関東地区優秀作品展示

八月二十四日(金)～八月二十六日(日)

会場 高輪 高野山東京別院

― 学生部規定 ―

- 一、資格 幼児・小・中・高校生
- 一、用紙 半紙(縦書き)
- 一、課題 内容自由 一人十時まで
- 一、奉賛出品料 団体出品……一点 三五〇円
個人出品……一点 五〇〇円
- 一、出品手続 指導者の指示にしたがって提出し、団体登録された書道会(教室)・学校ごとにまとめます(個人出品は、直接大会総本部宛に作品と出品票を郵送してください)

◎ 出品締切日

五月十八日(金) 必着(学生部・一般部共)

中国の学童も参加

本大会は、日中青少年友好交流競書大会を併催しており、ここに第三十四回を迎え、中国学童の作品とともに審査します。

○ 奉納法会

六月二日(土) 最終審査日

総本山金剛峯寺で「第五十三回高野山競書大会作品奉納法会」を行い、出品者の書技向上と日本書壇の発展を祈願いたします。全作品は奉納されますので、お返しできません。

○ 表彰式

八月三日(金) 式場 総本山金剛峯寺

(金剛峯寺賞以上の受賞者を高野山にご招待いたします)

― 一般部規定 ―

[競書の部・献書の部に分かれる]

- 競書の部
- 一、資格 大学生及び社会人
- 一、用紙・課題・出品手続の規定は学生部と同じ
- 一、奉賛出品料 団体出品……一点 七〇〇円
個人出品……一点 一、〇〇〇円

献書の部

- 一、資格・用紙・課題・出品手続の規定は競書の部と同じ
- 一、奉賛出品料 競書の部と同じ
- 作品の下部右下に「献書」と明記のこと
- 献書された方には感謝状と記念品を贈呈。

作品・奉賛出品料送付先

〒648 0294 和歌山県伊都郡高野町高野山一三三 総本山金剛峯寺内

高野山競書大会総本部

☎〇七三六(五五〇)二〇二二(直)

振替〇〇九九〇一〇一三〇九二六

(名義) 高野山書道協会

主催 高野山 総本山金剛峯寺
主 管 弘法大師 高野山書道協会
後 援 毎日新聞社・全日本書道連盟

〃 高野町教育委員会・高野山住職会

漢字に親しもう

98

今月は中学硬筆課題から「望」を取り上げます。「望」は小学4年生で学習する漢字です。

望

音 ぼう

訓 のぞむ

部首 月(つき)の部

画数 11画

筆順 一 ㇇ ㇏ ㇐ ㇑ ㇒ ㇓ ㇔ ㇕ ㇖ ㇗

なりたち



大むかしの字は目(目)と人(人がのびあがっているようす)とからできていた。のち、それに月(月)がくわり、さらに臣が亡(亡)になった。まだ見えない月を、せのびして待ちのぞんでいるようすを表す。

意味

- ①のぞみ。ねがい。
- ②遠くを見ること。
- ③人気(にんき)
- ④満月(まんげつ)

解説

昨年、天才中学生として話題になった将棋棋士藤井聡太六段のインタビューでの言葉が注目を集めています。その中で「望外(ぼうがい)の結果なので素直にうれい」というものがありました。望外の意味は望んでいたこと以上に良い結果のことで、あどけない表情からは想像もできないような難しい言葉を使って、謙虚に喜びを表現する姿が評判になりました。「望」の文字は月がすこし傾いていますので、書写の時には注意して下さい。また、許容の部分がいくつかありますので書写のポイントを確認して下さい。

書写のポイント

やや左に傾ける

字形

中心

許容
方向折れ

払い
月の払い



編集余録

○いよいよ新学期を迎えます。新しく本誌を始める人もいると思いますので、いくつか気づいたことを書きますので参考にしてください。まず毛筆ですが名前まで集中して書きましょう。名前になると急に元気がなくなる作品があります。最後まで気を抜かずに書いてください。次に硬筆ですが、用具が不適切なため線が細く効果が薄れる作品が見受けられます。筆記用具の濃さにも注意してください。汚れの消し忘れや「」の付け忘れなどにも注意してください。1枚書いたら見直す習慣をつけてください。

○今月号から表紙の作品を第69回全国学生書道展の上位作品に変更しました。学生版に出している誌友も登場しますので、毎回表紙にも注目してください。

○新中学1年生の新段・級を掲載しました。現在の段級をもとにした移行基準に従って新しい段級で初めていただきます。毛筆・硬筆とも同じ扱いですので、ご注意ください。

(豪峰)